

第2学年 図画工作科学習指導案

日 時 平成24年10月5日(金) 5校時

学 級 男子3名 女子3名 計6名

指導者 佐々木 由紀

場 所 教室

1 題材名 スルスルメカで ビューン (絵に表わす)

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、指導内容「A表現(2)ア感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。イ好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。ウ身近な材料や扱いやすい用具や手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。」「B鑑賞(1)ア自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。イ感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。」「共通事項(1)ア自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。イ形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。」を主として設定したものである。

本題材は、画用紙に切り込みをいれ、小さな紙を動かす仕組みを使って、表し方を工夫しながら絵に表すことをねらいとしている。

紙を動かす仕組みをきっかけにして、何を作るか発想したり、その特徴を生かしてどのような絵をかくか考えたりすることができる。また、友人と作品を動かしながら交流することで、発想の広がりも期待でき、楽しみながら活動できる題材である。

(2) 児童について

前題材、「たのしいこと見つけた」では生活の中から「おもしろいな。」「いいな。」と思って、わくわくしたことを絵に表わす活動をした。その中で、楽しい場面を考えたり、その楽しい感じが伝わるように色や形を工夫したりする学習をしてきた。それらの学習の中で、お互いに考えを交流しながら、個々の考えを深めたり、絵をかき足したりできるようになってきている。

何をかこうか、個々の考えを持ったうえで交流し、一人一人の発想を確立できるように支援していく。また、本題材で使用するカッターナイフは、使う経験が少なく不慣れなので、練習の時間をとり、少しでも使い慣れるようにしていきたい。

(3) 研究主題に関わる手立て

動く仕組みを作ったら、発想や構想の段階では3人グループで、その仕組みを何に見立てるかを交流し、発想を広げたり深めたりさせる。その際、友人の発想の良いところを参考にさせたい。

絵をかく段階では、発想したことを絵にしていこう。かいた絵についても自分の絵について発表したり、友人の絵の面白さについて話し合ったりする交流をして、それらを参考にしながら、自分の絵に生かせるようにする。

鑑賞の段階では、3人組でそれぞれの作品に触れながら面白さを話し合い、友人の感じ方を認め合わせることで様々な見方を身につけさせる。

3 題材の目標

(1) 仕組みに興味を持って、動く楽しいものをかく活動に取り組もうとする。

【造形への関心・意欲・態度】

(2) 動く楽しいものを思い浮かべたり、色や形などについて考えたりする。

【発想や構想の能力】

(3) 動かしたいものに合わせて、用具を使って思いのままに絵をかく。

【創造的な技能】

(4) 自分や友人の作品を動かしながら、よさや面白さを感じる。

【鑑賞の能力】

4 指導計画と評価規準（全4時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準			
		造形への関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞の能力
第1次 20分	絵を動かす仕組みを理解し、動くものや道などかきたいものを思い浮かべる。	仕組みに興味を持って活動に取り組もうとしている。 (観察)	動く楽しいものを思い浮かべている。 (観察・発言)		
第2次 45分	画用紙に切り込みを入れて道を作り動かすものを作る。	動かすものを作ることに取り組もうとしている。 (観察)		動かしたいものに合わせて、道や動かすものの形を工夫している。 (観察・作品)	
第3次 95分 本時 45 ／ 95	動かすものや道に合わせて、周りの様子など、表したいものの形や色、位置などを考えてかく。	自分の方法で思いのままに表すことを楽しもうとしている。 (観察)	動かす面白さや楽しさなどの特徴を生かした表し方を考えている。 (観察・発言)	クレヨンや絵の具などを使いながら、表し方を工夫している。 (観察・作品)	自分が感じたことを話したり、友人の話や友人の話を聞いたりしながら、作品の形や色、イメージなどに気付いている。 (発言・記録)
第4次 20分	できた作品を動かしながら、自分や友人の作品のよさや面白さを感じる。	自分たちがかいたりつくったりした作品の面白さや造形的な活動の楽しさを味わおうとしている。 (観察)			感じたことを話したり、簡単な文で書いたりしながら、作品の面白さや造形的な活動の楽しさを感じている。 (発言・記録)

5 本時の指導

(1) 目標

仕組みを生かして表し方を工夫しながら、動く面白い「スルスルメカ」の絵をかく。

(2) 具体的評価規準

評価の観点 (評価方法)	概ね満足できる状況 (B)	支援の必要な児童への手立て
造形への関心・意欲・態度【観察】	仕組みに興味を持って、動く楽しいものをかく活動に取り組もうとしている。	仕組みの面白さを感じさせながら、周りの様子などを一緒に考え意欲を持たせる。
発想や構想の能力【観察・発言】	動かすものや道に合わせて、周りの様子など、表したいものの形や色などについて考えている。	動かすものや道から想像する周りの様子を、友人の発想も聞いて参考にしながらイメージが思い浮かぶかわりをする。
創造的な技能【観察】	動かしたいものに合わせて、用具を使うとともに、自分の表したいことを工夫して表している。	周りの友人と交流させることで、その工夫を参考にさせる。

(3) 展開

過程	学 習 活 動 ○予想される児童の反応	指導上の留意点 ◆評価 ●研究主題に関わる手立て	準備物
思 い を 持 つ 3分	1. 学習内容を知る。 ・動かすものや道に合わせて、周りの様子など、表したいものの形や色、位置などを考えてかく活動であることを知る。 2. 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">動くと面白い「スルスルメカ」の絵をかこう。</div>	・前時の活動を振り返り本時への期待を持たせる。 ・課題を確認し本時の活動の見通しを持たせる。 ◆関心・意欲・態度	・共同絵の具 ・パス（各自） ・サインペン
思 い を ふ く ら ま せ る 5分	・どのような絵にするか発表する。 ○車を動かすので、道路と、街をかきます。 ○わたしは人を動かして虹を歩かせるので、七色の虹にして、空の雲をかきます。	●全員に自分の絵の構想を発表させる。 ●それぞれの発表から面白いところや、構想に付け足したらいいことを考えさせる。 ●意見交流をして構想を深めさせる。 ◆発想・構想	
思 い を 形 象 化 す る 32分	3. 活動する。① ・道具の使い方について知る。 ・各自の構想を大事にしながらかく活動を進める。 4. 交流する。 ・作品について交流する。 5. 活動する。② ・友人の意見を参考にしておかき足す。	・共同絵の具 ・サインペン ・クレヨン（各自） の使い方について確認する。 ◆創造的な技能 ●自分の絵の物語を伝えさせる。 ●その物語から、絵の面白い所やかき足したらいいところを話し合わせる。	
ま と め る 5分	6. 活動を振り返る。 ・本時の活動を、振り返りカードに記入する。 ○～さんが～と言ってくれたので、かき足したら、とてもきれいにできました。	・本時の活動について、自分でうまくできたところ、友人の意見が参考になったこと、次回に向けてやりたいことなどをおかき足す。	